

依頼者 株式会社 エイ・シー・エム

検体名 300リットル浄水器通過水

検体採取時刻 ****年(平成**年)**月**日 **時**分
 検体採取場所 *****
 検体採取者氏名 *****
 検体採取者所属 *****

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0063 東京都渋谷区元代々木町52番1号
 大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
 名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
 九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
 多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
 千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番
 彩都研究所 〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目4番41号

2007年(平成19年)04月06日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	基準	結果	検出限界	注	方法
マンガン及びその化合物	0.05 mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L	1	3
塩化物イオン	200 mg/L以下	29 mg/L		1	8
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300 mg/L以下	64 mg/L		1	13
蒸発残留物	500 mg/L以下	170 mg/L		1	14
陰イオン界面活性剤	0.2 mg/L以下	検出せず	0.02 mg/L	1	15
ジオキソシン	0.00001 mg/L以下	検出せず	0.000001 mg/L	1	9
2-メチルイソボルネオール	0.00001 mg/L以下	検出せず	0.000001 mg/L	1	9
非イオン界面活性剤	0.02 mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L	1	16
フェノール類	0.005 mg/L以下	検出せず	0.0005 mg/L	1	17
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	5 mg/L以下	0.3 mg/L		1	18
pH値	5.8以上8.6以下	7.8(21℃)		1	19
味	異常でない	異常なし		1	20
臭気	異常でない	異常なし		1	20
色度	5度以下	1度以下		1	21
濁度	2度以下	1度以下		1	22

判定 : 50項目について水道法水質基準に適合。

試験検査責任者 川口 寿之

注1. 水質基準に関する省令(平成15年厚生労働省令第101号)。

方法1. 標準寒天培地法

方法3. 誘導結合プラズマ発光分光分析法

方法5. 水素化物発生-原子吸光光度法

方法7. イオンクロマトグラフ-ホストラム吸光光度法

方法9. パージ・トラップ-ガスクロマトグラフ-質量分析法

方法11. 溶媒抽出-ガスクロマトグラフ-質量分析法

方法13. 滴定法

方法15. 固相抽出-高速液体クロマトグラフ法

方法17. 固相抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ-質量分析法

方法19. ガラス電極法

方法21. 比色法

方法2. 特定酵素基質培地法

方法4. 還元酸化-原子吸光光度法

方法6. 誘導結合プラズマ質量分析法

方法8. イオンクロマトグラフ法

方法10. 固相抽出-ガスクロマトグラフ-質量分析法

方法12. 溶媒抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ-質量分析法

方法14. 重量法

方法16. 固相抽出-吸光光度法

方法18. 全有機炭素計測定法

方法20. 官能法

方法22. 比濁法

以上